

安心・安全な住環境の保持・再生を目指す

一般社団法人街と暮らし環境再生機構(TERS)
会員制度のご案内

一般社団法人 街と暮らし環境再生機構

TERS会員制度について

TERS会員制度は、会員の赤外線建物診断技術の習得及び赤外線建物診断ビジネス展開に向けてTERSが次の業務支援を行う。

- ①技術習得に向けた実務研修の提供
 - ②現場体験、現場同行指導
 - ③赤外線画像解析サポート・指導、報告書内容レビュー
 - ④赤外線建物診断業務・営業サポートツールの提供
 - ⑤会員に必要とされる情報及び共有のためのセミナー及びWEB会議などの実施
 - ⑥赤外線建物診断事例・営業展開事例等の情報提供
 - ⑦仕事創出として第三者機関としての診断受託支援及びTERS診断受託案件の正会員への診断業務の再委託
 - ⑧会員が実施する業務推進のためのプレゼン、セミナーなどの支援
 - ⑨会員と会員または赤外線建物診断業務推進者との業務連携の構築
- 等の赤外線診断ビジネス構築の支援を提供します。

TERS会員区分

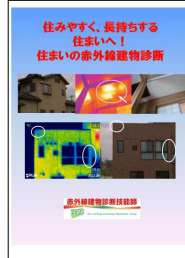
会員区分	入会内容	入会金(税別)	会費(税別)
正会員	TERSの目的に賛同し事業遂行の協力と技術の普及のために入会する個人または法人	100,000円	年会費60,000円 (月額,5000円)
一般会員	TERSの目的に賛同し事業遂行に協力するために入会する個人または法人	20,000円	年会費24,000円 (月額2,000円)
賛助会員	TERSの事業を賛助するために入会する法人または団体	200,000円	年会費12,000円 (月額10,000円)

TERSの会員区分別の業務支援一覧

項目	TERSから会員へ診断業務委託	TERSと営業協同推進			WEB告知		TERS業務・営業支援ツールの提供		現場見学会	フォローアップ研修	解析アドバイスサービス
		仲間増やし	診断委託	現場プレゼン	診断企業紹介	相互リンク	業務支援	営業支援			
会員としての目的	①収益力向上 ②技術力の強化とアピール	①第三者機関との連携による信頼性強化 ②収益力向上(顧客紹介料)			信頼性、認知度向上		スピード化 明確化	営業活用 WEB活用	診断現場の体験	赤外線現場実務、ノウハウの習得	解析実務サポート
内容	TERSから会員へ診断業務委託から会員へ診断業務委託	TERS研修への受講者紹介	TERSへの診断委託	会員企業顧客への現場同行プレゼン、セミナー講師派遣等	TERSホームページで診断委託としての紹介	TERSホームページ、会員企業ホームページの相互リンク、TERSパナー貸与	報告書様式データ、報告書サンプルデータ、診断事例集データ等の貸与	営業チラシデータ、赤外線画像データ、TERS現場診断増強の同行体験	雨漏り診断技術向上研修 外壁劣化診断技術向上研修 現場実務研修 現場同行指導	赤外線現場実務、ノウハウの習得	会員撮影画像の解析アドバイスサービス
正会員: 年会費6万円(税別)	診断役割分担に応じて診断委託費用の最大75%	受講費用の20%の紹介料	診断費用の10%の紹介料	3万/半日～ +交通費実費	○	○	○	○	体験費用 2万円	正会員価格での受講	月1回まで無料(1回当50画像データまで)
一般会員: 年会費2.4万円(税別)	×	×		5万/半日～ +交通費実費	×	○	×	○	体験費用 5万円	一般会員価格での受講	年1回まで無料(1回当50画像データまで)

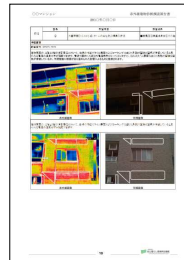
営業支援ツール：一般会員・正会員共通

タイトル：一般会員・正会員共通営業サポートツール	収納フォルダ	用途詳細
TERSセミナーレジュメ	営業ツール類	赤外線診断事例説明資料
赤外線雨漏り診断案内チラシデータ		診断案内チラシデータ
赤外線外壁劣化診断案内チラシデータ		診断案内チラシデータ
赤外線建物診断技術営業要綱		赤外線建物診断技術活用事例
赤外線建物診断説明資料		お客様説明用営業資料
赤外線建物診断パンフレットデータ		お客様説明用見開きパンフレットデータ(イラストレータデータ)
赤外線建物診断技術ロゴ	技術ロゴ	名刺、WEB/バナー活用赤外線建物診断技術ロゴデータ
赤外線建物診断赤外線画像データ	画像データ	ホームページ、チラシ等活用赤外線画像データ
雨漏り診断事例印刷用		雨漏り診断現場事例、注意事項詳細
外壁診断事例印刷用	7期会員配布資料	外壁診断現場事例/ノイズ、注意事項詳細
外壁診断による診断仕様説明書類		定期報告制度における赤外線調査必要仕様説明資料
雨漏り診断報告書		雨漏り診断報告書サンプル
赤外線雨漏り診断営業ツール	7期共通送付物	お客様への赤外線雨漏り診断説明資料
赤外線外壁診断営業ツール		お客様への赤外線外壁診断説明資料
赤外線建物診断報告書サンプル		外壁診断報告書サンプル
漏水状況検査様式赤外線ADテキスト		居住住宅(インスペクション)室内赤外線雨漏り点検調査サンプル
TERS会員配布技術資料集		行政庁、ゼネコン等への赤外線外壁診断説明資料、赤外線診断と打診診断の精度比較技術資料、行政庁赤外線外壁診断仕様書事例(赤外線建物診断技術必須)



業務支援ツール：正会員対象

タイトル：正会員営業サポートツール	収納フォルダ	用途詳細
TERSセミナーレジュメ	営業ツール類	赤外線診断事例説明資料
赤外線雨漏り診断案内チラシデータ		診断案内チラシデータ
赤外線外壁劣化診断案内チラシデータ		診断案内チラシデータ
赤外線建物診断技術営業要綱		赤外線建物診断技術活用事例
赤外線建物診断説明資料		お客様説明用営業資料
赤外線建物診断パンフレットデータ		お客様説明用見開きパンフレットデータ(イラストレータデータ)
赤外線建物診断技術ロゴ	技術ロゴ	名刺、WEB/バナー活用赤外線建物診断技術ロゴデータ
赤外線建物診断赤外線画像データ	画像データ	ホームページ、チラシ等活用赤外線画像データ
雨漏り診断事例印刷用		雨漏り診断現場事例、注意事項詳細
外壁診断事例印刷用	7期会員配布資料	外壁診断現場事例/ノイズ、注意事項詳細
外壁診断による診断仕様説明書類		定期報告制度における赤外線調査必要仕様説明資料
雨漏り診断報告書		雨漏り診断報告書サンプル
赤外線雨漏り診断営業ツール	7期共通送付物	お客様への赤外線雨漏り診断説明資料
赤外線外壁診断営業ツール		お客様への赤外線外壁診断説明資料
赤外線建物診断報告書サンプル		外壁診断報告書サンプル
漏水状況検査様式赤外線ADテキスト		居住住宅(インスペクション)室内赤外線雨漏り点検調査サンプル
TERS会員配布技術資料集		行政庁、ゼネコン等への赤外線外壁診断説明資料、赤外線診断と打診診断の精度比較技術資料、行政庁赤外線外壁診断仕様書事例(赤外線建物診断技術必須)
外壁診断マニュアル		定期報告制度における赤外線報告書外壁診断マニュアル
報告書赤外線建物診断報告書仕様		定期報告制度における赤外線報告書サンプル、プレゼン資料使用
雨漏り診断報告書ツール	報告書作成様式(高漏り診断)	雨漏り診断報告書様式
赤外線雨漏り診断事前調査書様式		雨漏り診断事前調査書様式
報告書サンプルデータ		雨漏り診断報告書サンプル
赤外線雨漏り診断報告書仕様		外壁診断報告書仕様
赤外線外壁劣化診断事前調査書様式	報告書様式(外壁劣化診断)	外壁診断事前調査書様式
赤外線診断報告書		外壁診断報告書サンプル
赤外線調査報告書チェック様式		外壁診断報告書チェック様式



撮影画像解析アドバイスサービス内容

(1)目的:

赤外線で撮影した画像の浮き等の劣化状況、水分の滞留状況についての解析判断が難しい場合に、その判断の仕方、判断の妥当性、撮影環境等の適切性等についてアドバイスいたします。

(2)必要資料:利用の際には下記の資料を送付ください。

- ①撮影画像、赤外線画像、可視画像
- ②建物図面:立面図、平面図(撮影画像の画像番号を図面中に記載)
- ③撮影開始時間、天候、想定風速

(3)本サービス利用対象

①TERS正会員:

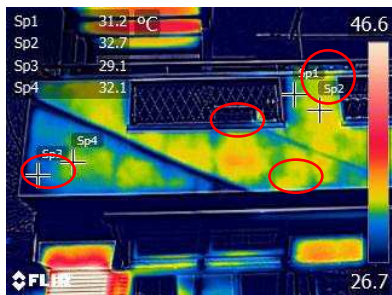
年度会員期間中に6案件まで解析アドバイスサービスを無料で利用できます。
6案件を超えた場合には、1案件につき5千円(税別)必要になります。

②TERS一般会員

年度会員期間中に1案件までアドバイスサービスを無料で利用できます。
1案件を超えた場合には、1案件につき1万円(税別)必要になります。

※年度会員期間:毎年10月～9月

参考:撮影画像解析アドバイスサービス例



本質的な雨漏りの原因とはなっていないと思いますが、バルコニーの手すりや、床面防水立ち上がりは、劣化の可能性がありますので、目視で状況確認必要だと思います。

参考：撮影画像解析アドバイスサービス例



0314(上) 日射部に着目
赤枠部水分の可能性ありそうです。

0314(下) 影部に着目
影や構造による温度差での低温も考えられますが、温度差や低温部の形状等から水分の可能性もありそうです。

診断報告書レビューサービス内容

(1) 目的:

作成された赤外線建物診断報告書について、報告書レビュー事項

- ① 事前調査書に基づいた「漏水指摘箇所、診断対象箇所」を撮影しているか
- ② 赤外線診断に適した気象条件下で撮影しているか
- ③ 赤外線診断が可能な角度・距離を保持しているか
- ④ 雨水滞留箇所・劣化箇所など分かりやすく指摘しているか
- ⑤ 診断判定に過度な表現がなされていないか

を対象に、赤外線撮影した画像の浮き等の劣化状況、水分の滞留状況についての解析判断の仕方、判断の妥当性、撮影環境等の適切性等についてレビューいたします。

※詳細は後述

(2) 必要資料: 利用の際には下記の資料を送付ください。

- ① 撮影画像、赤外線画像、可視画像
- ② 建物図面: 立面図、平面図(撮影画像の画像番号を図面中に記載)
- ③ 撮影開始時間、天候、想定風速
- ④ 診断報告書データ



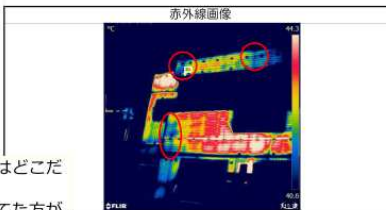
(3) 本サービス利用対象

- ① TERS正会員:
報告書1案件につき、診断費用の5%(最低、1案件につき5千円(税別))
必要になります。

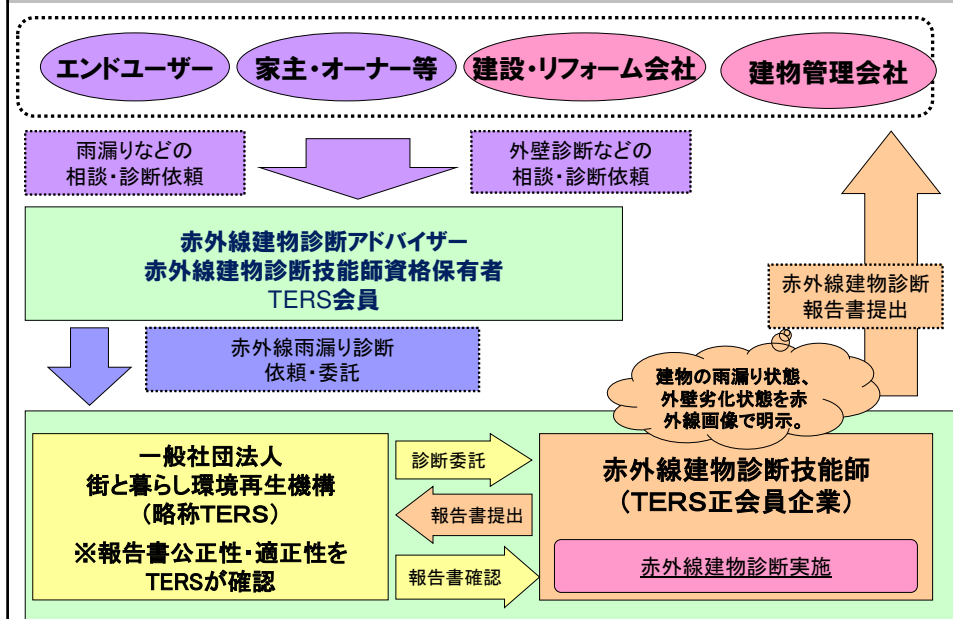
参考:レビュー例

No. 15

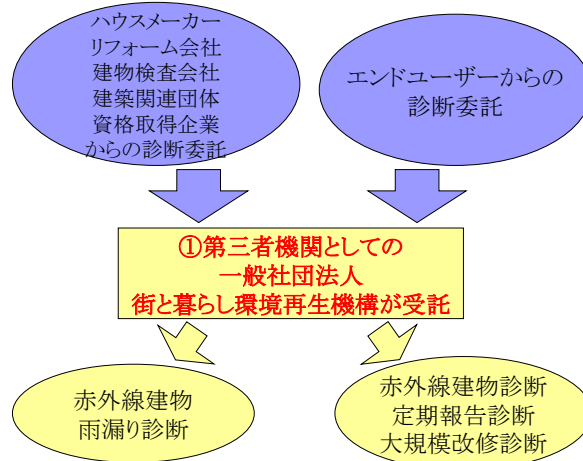
外壁部正面赤外線調査

<p>全体図</p> 	<p>可視画像</p> 
<p>調査部位</p> <p>外壁部正面赤外線調査</p>	<p>赤外線画像</p> 
<p>調査コメント</p> <p>赤丸部に水分の滞留と見られる低温反応が検出されました。</p> <p>この水分滞留の原因、侵入ルートはどこだと考えられますか？ 考察で、このことについても触れての方が良いと思います？</p>	

第三者機関によるTERS赤外線建物診断の仕組み



TERS正会員赤外線診断業務委託の流れと条件



②TERSからTERS正会員へ再委託

※TERS受託案件を委託する条件

・赤外線建物診断技能師資格取得企業

・TERS正会員: TERS実務研修受講、同行診断受講等、診断技術を保有すると認められた正会員

TERS正会員赤外線診断業務委託条件

基本条件

- 赤外線建物診断技能師資格保有者であること。
- TERS正会員であること。
- 第三者機関としての公正な診断理念を保有し、かつ、お客様との適切な対応ができること。

赤外線建物診断技術要件

■赤外線建物診断を委託するにあたり、診断技術が適正であり、診断報告書の品質が適正、かつ、TERSの報告仕様に準じた報告書を作成することができること。

※「雨漏り診断」「定期報告または、大規模改修浮き・剝離診断」の診断種別毎に判断します。

■判断目安: 下記のどちらかの条件にあてはまること

- ①これまでに、赤外線建物診断の経験・実績が相当数あり、かつその診断報告書をTERSが審査し、適正と認められること。
- ②赤外線建物診断未経験については、TERSフォローアップ研修の実務研修または、同行診断の経験者で、研修における診断レポートの作成が適正であると認められること。
- ③委託案件の赤外線撮影、診断報告書撮影技術が適正と判断された場合には、以降の案件については、完全委託させていただきます。

TERS正会員赤外線診断業務レビュー内容

- TERSが定める事前調査報告書様式で必要情報に関する記載ができているか
- TERSが定める診断報告書様式で必要情報に関する記載ができているか
- 診断報告書に記載されている表現、記載されている赤外線解析表現が適切であるか
- 考察にまとめた内容が適切なロジックになっているか
- TERS正会員であること。
- 第三者機関としての公正な診断内容になっていること
- お客様に対する適切になっているか

【会員制度のお問い合わせ及びご入会について】

会員加入のお申出で後、会員申込書及び会員規約を送らせていただきます。お申込書に必要事項をご記入いただき、会員規約書にご承諾の署名をしてご返信ください。その後TERSにて会員適合の審査をさせていただきます。その際審査に必要な書類のご提出をお願いする場合がございます。会員ご入会承認後、入会金・年会費納付のご請求書をご案内させていただきます。

会員制度についてのお問合せ、ご入会に関するご相談・お問合せ
電話：【044-201-7411】
メール：info@ters.or.jp
担当：青木・中嶋